

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34108	図書館制度・経営論 Study of Library System/Management	江良 友子	専門	2	選択	1・2年後期
<b>科目の概要</b>						
<p>公立図書館の管理・運営にかかわる法律、政策、行財政制度を概説し、図書館運営・活動計画の策定と管理運営のあり方、図書館職員をめぐる現況と課題等について解説する。公立図書館の経営の実態例を紹介しながら、課題や問題点を各自が考察する。合わせて本学の建学の精神を重んじ、社会人基礎力の育成を行う。</p> <p>★公共図書館で司書として勤務経験があり、図書館業務の理論と実際、各図書館職員の役割、公共図書館施設と設備、図書館界が抱える課題について現場の視点を含めた解説を行う。</p>						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 図書館法について学ぶ ② 図書館関連領域の法規について学ぶ ③ 図書館政策について学ぶ ④ 図書館経営の理論と実際について学ぶ ⑤ 現代図書館が抱える様々な課題について学ぶ			① 図書館法の内容を理解することができる ② 様々な図書館関連法を知ることができる ③ 図書館政策を理解することができる ④ 図書館経営の要素を理解することができる ⑤ 現代の図書館が抱えている課題を自分なりに考えることができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	自ら、公共図書館や書店に足を運ぶことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	日常的に公共図書館や書店を利用することができる。				
考え抜く力	課題発見力	毎日、新聞に目を通し社会の流れを把握することができる。				
	計画力					
	創造力	理想的な図書館像を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	見学してきた図書館について、わかりやすく発表することができる。				
	傾聴力	他の人の発表を聞いて、感想や疑問点をなげかけることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
<p>テキスト:「図書館情報学基礎資料」 2016年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,080円                      その他、講義用レジュメおよび追加資料を配付する。必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。                      参考文献:授業の中で紹介する。</p>						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
<p>他科目との関連:図書館に関する科目全て 特に、図書館概論と図書館サービス論                      資格との関連:図書館司書</p>						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
<p>前期開講の「図書館概論」と「図書館サービス論」の授業を受けていないと、理解することが難しい授業内容が含まれる。未履修の場合は、事前に相談に来ること。                      他の図書館に関する科目を履修し、図書館をよく利用していると、この科目の内容を理解しやすい。                      法律など難しい文章を読み、理解する必要があるため、そのつもりで取り組むこと。</p>			<p>遅刻・早退は、3回で1回の欠席となる。                      6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。                      欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。                      欠席した場合でも課題提出は必須です。必ず指定された期限までに提出すること。期日に遅れた場合は受け取らない。                      提出する課題は、次回授業日に集め、返却しない。必ずコピーをとっておくこと。                      授業の中で新聞社(名古屋市)の見学を予定しているが、往復の交通費は自己負担とする。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	75	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	レポート①: 見学した公立図書館について (サービス) (25 点) レポート②: 見学した公立図書館について (図書館施設・設備) (25 点) レポート③: 図書館と新聞: 新聞社見学から学んだこと (25 点) 評価のポイント (表記・表現等) ・字数制限が守られている。 ・誤字脱字がなく、正しい文章表現を用いている。 ・口語やくだけた表現をしていない。「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いている。 ・段落はじめの1字下げなど基本的なルールとレポートの基本書式を守っている。 ・情報源は信頼のおける適切なものを使用している。引用・参考文献を記載できている。 (内容) ・テーマに合致した内容となっている。 ・根拠をもとに、自分の考えを明確に述べている。 ・自分の述べたいことを、筋道立てて論理的に述べている。 ・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。 ・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。
成果発表 (口頭・実技)	15	① ② ③ ④ ⑤ ✓	評価のポイント レポート① 作成したレポートを見ないで発表することができる。(5 点) 板書するなど聞き手に伝えるための工夫がされている。(5 点) わかりやすくまとめられ、感想と共に発表する。(5 点)
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性) 授業で指示がなくても、公共図書館や書店に足を運ぶことができる。 (実行力) 授業で指示がなくても、公共図書館や書店に足を運ぶことができる。 (課題発見力) 毎日、日課として新聞に目を通している。 (創造力) 読み手に取ってわかりやすいレポート作成ができています。 (発信力) 見学した図書館の魅力や問題点をわかりやすく発表できる。 (傾聴力) 他の人の発表に耳を傾け、そこから何かを学ぼうとする意欲がある。 (規律性) 提出期限を順守して提出物を出すことができる。 ※上記の7項目は各項目に合致したそれぞれの回で評価する。
その他			
総合評価 割合	100		レポート、成果発表、学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
<p>S(秀)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 67 点以上である</li> <li>・成果発表の総計が 13 点以上である</li> <li>・学修態度であげた項目が全て達成できている</li> </ul> <p>A(優)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 60 点以上である</li> <li>・成果発表の総計が 12 点以上である</li> <li>・学修態度の7項目が 6 項目以上達成できている</li> </ul>	<p>B(良)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 52 点以上である</li> <li>・成果発表の総計が 10 点以上である</li> <li>・学修態度の7項目が 5 項目以上達成できている</li> </ul> <p>C(可)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 45 点以上である</li> <li>・成果発表の総計が 9 点以上である</li> <li>・学修態度の7項目が 4 項目以上達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している</li> </ul>



週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 図書館制度・経営論を学習する意義	講義 質疑応答	図書館制度・経営論を学ぶ意義を理解できる	(復習) 図書館制度・経営論を学ぶ意義を200～300字程度でノートにまとめる。 (課題) 「公共図書館へ行き、図書館サービスについてレポート作成する」(文字数1500字以上)	180	主体性 規律性 傾聴力
2週 /	図書館に関する法律・法規① 図書館に関する法律について学ぶ	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し双方向型授業	法体系の中での図書館の位置付けを知ることができる	(復習) 日本国憲法・教育基本法・社会教育法を読み、図書館に関する部分にアンダーラインを引く (予習) 図書館法を読み、わからない言葉の読みと意味を辞書で調べる 教科書p14-16	180	規律性 傾聴力
3週 /	図書館法 図書館法とその精神を学ぶ 図書館奉仕とは何か	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し双方向型授業	図書館法を通読することができる	(復習) 図書館法を読み(教科書p14-16)、図書館奉仕に書かれている業務内容を実際の図書館サービスに照らしてノートにまとめる。 (予習) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律教科書p51-52、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律p53-55、子どもの読書活動推進に関する法律 32-33、文字・活字文化振興法 34-35をわからない言葉の読みと意味を辞書で調べる	180	規律性 傾聴力 実行力
4週 /	図書館に関する法律・法規② 図書館に関する法規について学ぶ	講義 質疑応答 「imakiku」を利用し双方向型授業	法体系の中での図書館の位置付けを理解することができる	(宿題) 公共図書館へ行き、サービスについてレポート作成する。 (予習) 図書館サービスについて、3分で発表できるように準備をする	180	規律性 傾聴力
5週 /	レポート発表 コメント記入	図書館見学についてのレポート発表を行い、質問・感想を述べる(全員)。 レポートについてフィードバック	他の人の発表を批判的に聞き、意見を述べるができる。	(復習) 他の人から出た意見を踏まえ、自分のレポートを見直す(600字程度にまとめる) (予習) 図書館の自由に関する宣言を読み、わからない言葉の読みと意味を辞書で調べる 教科書p70-72	180	発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
6週 /	図書館の自由 図書館の自由に関する宣言	講義 「imakiku」を利用し双方向型授業 レポート提出	図書館の自由に関する各種事例を知ることができる	(復習) 図書館の自由に関する宣言に関係する事例を3件探す (予習) 5年以内に開館した公共図書館の図書館政策を調べる	180	主体性 規律性 傾聴力
7週 /	図書館政策(国と地方) 図書館に関する政策	講義 「imakiku」を利用し双方向型授業 質疑応答	国と地方による図書館政策を知ることができる	(復習) オーテピア高知図書館(高知県立図書館と高知市立図書館)のサービスについての意見をノートに書く(600字以内) (予習) ランガナタンの五法則を読み、わからない言葉の読みと意味を辞書で調べる 教科書p69	180	規律性 傾聴力
8週 /	図書館業務の理論と実際 図書館業務の実際	講義 「imakiku」を利用し双方向型授業 質疑応答	様々な図書館業務を知ることができる	(復習) ランガナタンの五法則を読み、法則を1つ選択して、その法則を図書館で実践するためにはどのようなことが必要かノートにまとめる (予習) 図書館で働く職員の種類(職階、採用による違い、業務による違いなど様々な切り口で考える)	180	規律性 傾聴力
9週 /	図書館組織① 館長・司書の役割	講義 「imakiku」を利用し双方向型授業 質疑応答	館長と司書の役割を理解することができる	(復習) 館長と司書のそれぞれの役割についてノートにまとめる (予習) 指定管理とPFIについて調べ、発表できるようにノートにまとめる	180	規律性 傾聴力
10週 /	図書館組織② 経営と雇用の多様化	講義 「imakiku」を利用し双方向型授業 質疑応答	図書館経営の問題点を考えることができる	(復習) 図書館経営を行う上で問題点や課題についてノートに書き出す (予習) 新聞を読み、紙面構成について疑問点をノートに書き出す	180	規律性 傾聴力
11週 /	図書館と出版流通 新聞社の出版・流通について学ぶ	見学	図書館資料としての新聞、作成元の新聞社を知ることでもスコミと情報について理解を深めることができる	(課題) 「図書館と新聞:新聞社見学から学んだこと」(文字数 1500字～上限なし) (予習) 図書館へ行き、図書館施設と設備にはどのようなものがあるかノートに図を描く	180	規律性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
12週 /	図書館施設・設備 図書館施設・設備について実際の図書館建築から学ぶ	講義 「imakiku」を利用し双方向型授業 質疑応答	図書館施設・設備・家具を知ることができる	(復習) 図書館施設・設備・家具にはどのようなものがあるかノートにまとめる (予習) 図書館利用アンケートをHPで公開している図書館を調べ、アンケート内容をノートに書き出す	180	規律性 傾聴力
13週 /	図書館評価について 図書館業務・サービスの調査と評価について学ぶ	講義 「imakiku」を利用し双方向型授業 質疑応答 「図書館と新聞:新聞社見学から学んだこと」レポート提出	図書館経営・サービスの評価に関する方法と考え方を理解する	(復習) 図書館評価の方法とその特徴をノートにまとめる (課題) 「公共図書館へ行き、図書館施設・設備についてレポート作成する」(文字数 1500 字以上、図面付き)	180	規律性 傾聴力 課題発見力 創造力
14週 /	図書館を支える力 (協議会・ボランティア等図書館関係団体) 図書館関係団体について学ぶ	講義 「imakiku」を利用し双方向型授業 質疑応答 レポート(新聞)についてフィードバック 「公共図書館へ行き、図書館施設・設備について」レポート提出	様々な図書館に関する団体を知ることができる	(復習) 各図書館関係団体の特徴をノートに書く (予習) 図書館で発生する可能性がある自然災害と人的事故をあげ、どのような対応策があるかノートに書く	180	規律性 傾聴力
15週 /	図書館と危機管理 図書館経営の現状と課題について	講義 「imakiku」を利用し双方向型授業 質疑応答 レポート(図書館施設)についてフィードバック	図書館で発生する危険な事例と対処方法を知ることができる	(復習) 危機管理に必要なことを(600 字にまとめる)	180	規律性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

